

坂巻哲也プロデュース ヘアコサージュ

フェミニンカールショート



もっとキレイに
スタイリング



簡単プラス技!

私が
教えます!



坂巻 哲也

銀座・青山・表参道などで展開する美容室「apish」代表。サロンワークを中心に、ヘアショー、TV出演、撮影、講習会と、幅広い活動を展開中。

自然に見える着用テクニック

残念ウィッグは
これで解決!

困ったときに役立つ3つのポイントを教えます!

例えば髪型を変えた時に違和感を感じても、数日経つと見慣れてしっくりきますよね?
それはウィッグでも同じこと。じっくり何度もかぶって色々試すと、見違えるように似合ってきますよ!

Point1 ウィッグをかぶる前に

♥ 指で根元を
しっかり立ち上げる

ウィッグの人工地肌部分を前から後ろへ指の腹でゴシゴシこすり、根元からしっかりボリュームを出す。



最重要ポイント

人工地肌部分を
指でこすることで
根元から
ボリュームUP



♥ 上下に大きく振って、
ふんわり整える

ウィッグの前髪部分を持って上下にしっかり振って、空気を含ませてスタイルを整える。



Point2 ウィッグをかぶりながら

♥ かぶる位置を確認

前後左右の位置をしっかり確認しながらかぶる。



左右のボリュームがおかしい...



分け目を中央にかぶっている可能性あり!フロントピンの中央に合わせて。

べたっとして不自然だな...



前髪で目が隠れてしまう場合は、前髪が眉上になるようにフロントピンの位置を後ろにずらして。

Point3 ウィッグをフィットさせる

♥ 前と後ろを深くかぶる



内側に手を入れしっかり下に引っ張ってかぶりきる。



内側に手を入れしっかり下に引っ張ってかぶり、こめかみのワイヤーを少し内側に曲げる。

3つのポイントで見違える



とっても自然

Side

Case01

よりフィット感を出す

後頭部が浮いてしまう方は、浮いている部分をウィッグの根元から指で下に引き、ピンを真横に差しします。



Case02

美しいカールとボリュームを出す

美しいカールは、撫でつけたり手で流したりせず、小さくつまんでU字に癖付けましょう。



前髪部分の根元を少しずつつまんで、スリスリこするとボリュームが出ます。

ふわふわカールで
スタイルが決まる!



愛らしい印象に



※150℃以下のホットカーラー・ヘアアイロン・ドライヤーの使用時に、1カ所に10分以上の使用をしないでください。

❁ 〈坂巻ウィッグ〉こだわりの技術

自然な分け目

自然なスタイル演出のため、分け目を中央から約1cm右側に寄せています。

※分け目ではなくフロントピンを前髪の生え際中央に合わせて着用してください。

ボリュームのある根元

自然なボリュームを出すため、髪の毛の根元部分に逆毛を立てて製造しています。

本品の分け目は右寄り



立体感を出すカラー

カールに立体感を出すため、中間層の髪色に1段階暗いカラーを採用。

❁ ウィッグ裏側の構造



①フロントピン

前髪部分の髪に差し込んで留めます。



②バックピン

襟足部分の髪に差し込んで引っかけます。



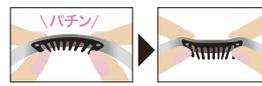
③サイドワイヤー

曲げたり伸ばしたりしてフィットさせます。

④サイドアジャスター

ウィッグのサイズを調整します。

使用方法



ピンを両端を反らせるようにして開いてください。



ピンのクシを髪に差し込み、両端を押さえて留めます。

❁ ウィッグのつけ方

❁ ウィッグをつけて、坂巻スタイルを体感しましょう

1 ヘアネットをかぶる



ネットの太い部分を下にして、ネットを首元までかぶり、地毛を全て出します。

2 地毛をまとめる



ネットを引き上げて、地毛を入れ、ネットの先を折り畳んでお手持ちのピンで留めます。

3 凹凸をならす



後頭部の凹凸を、手のひらで円を描くように、丸くならします。

4 ウィッグを準備する



ウィッグを上下に大きく振り、全体に空気を含ませ、ウィッグの髪をほぐしボリュームを出します。

5 フロントピンを留める



前髪の長さを合わせてから前髪の生え際中央にフロントピンを差し込んで留めます。

6 ウィッグをかぶる



前髪を押さえ、頭全体を入れ、バックピンを襟足に差し留めます。

7 横を合わせる



こめかみ部分をフェイスラインに沿わせます。

8 サイズを調整



2ヶ所のサイドアジャスターでサイズを調整します。

9 深くかぶる



後ろからウィッグを引っ張り、全体にフィットさせます。

坂巻スタイル完成!



ふわかないためのテクニック



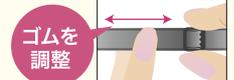
Point

こめかみ部分のサイドワイヤーが内側に折り込まれないよう注意しましょう。



Point

耳後ろにあるサイドアジャスターで、締める時はゴムを引っ張り、緩める時はゴムを緩めてフィットさせましょう。



ウィッグスタンド組み立て方法



①凹のスタンドに凸のスタンドを、輪の中を通すように差し込んでください。
②上部分の凹凸にあわせて差し込んでください。
③スタンドの上部分に固定パーツの凹凸を合わせて完成!

ウィッグの保管方法
ウィッグの形がくずれないように、スタンドの脚部分を正面中央に合わせてかぶせて保管してください。

お手入れ方法



①霧吹きで水を数回かけて、全体を湿らせます。
②目の粗いコームで毛の流れを整えます。
③室内で寝かせた状態で自然乾燥させます。

汚れが気になるときのお手入れ

毎日ウィッグを着用した場合は、2週間に1回程度のシャンプー&リンスでのお手入れが目安です。

※ヘアコサージュ専用のシャンプー&リンス(別売り)をお使いください。

洗う ①水にシャンプー&リンスを適量入れて泡立て、2〜3分つけ置き、指先で軽く押し洗いをします。汚れがひどい時は二度洗いしてください。
乾燥 ②流水ですすぎ、タオルで軽く押さえながら水気を取り、室内に寝かせた状態で自然乾燥させます。
整える ③完全に乾燥したら、毛先から軽くブラッシングし、毛の流れを整えてください。

お取り扱い上のご注意

●就寝時は外してください。●体調によりかぶれが生じた場合は、使用を中止し、皮膚科専門医等にご相談ください。●ストーブやエアコンの近く、サウナ・浴室、火気のある場所や高温多湿の場所での使用は避けてください。●毛染め・脱色・パーマはおやめください。●150℃より高温のホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤー等は使用しないでください。●150℃以下のホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤーの使用時に、1ヶ所に10分以上の使用をしないでください。●素材(髪)の特性で、稀に白髪が混ざっていることがあります。気になる場合は抜いてください。

お手入れ上のご注意

●洗濯機でウィッグを洗わないでください。●市販のシャンプーはウィッグが傷むことがありますので使用しないでください。●過度の押し洗いはスタイルがくずれる原因となります。●ドライヤー・暖房器具などでの熱風乾燥は、縮みや傷みの原因となります。●濡れた状態でブラッシングすると、毛切れやスタイルがくずれる原因となります。●強いブラッシングはウィッグが傷む原因になります。

返品についてのご注意:美容室またはご自分でカット、パーマ等の熱処理をされた商品、香水やタバコ等の匂い移りのある商品、ファンデーションやヘアスプレー、ベットの毛等が付着した商品の返品はお受けできませんのでご了承ください。